

企業名：グローイング

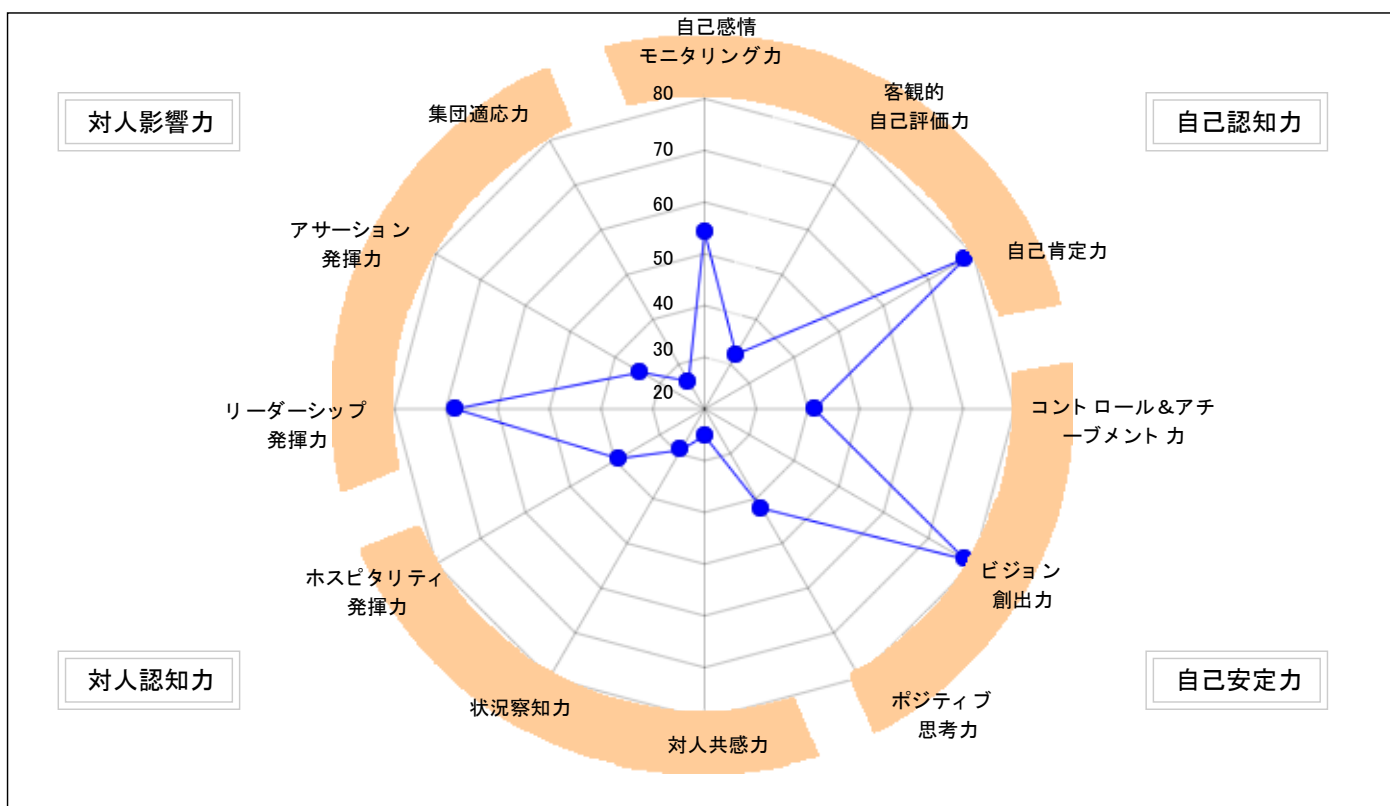
受検日:	2017/02/10	受検者ID:	mk1	氏名:	野崎 大輔(のざき だいすけ)	年齢:	40
------	------------	--------	-----	-----	-----------------	-----	----

1.行動価値検査で測定していること

行動価値検査は、日々行動する中で「あなたがどのような行動を重視しているのか」について測定しており、能力を測定する検査ではありません。この検査は12の特性から構成されており、12の特性は、「自己認知力：自己を適切に認識する力」「自己安定力：自分をコントロールする力」「対人認知力：他者の立場や感情を適切に認識する力」「対人影響力：他者を巻き込み、組織で目標を達成する力」の4つの領域に分かれています。12の特性はスコア（偏差値）で表わされています。スコアが高い場合には、日常の行動において、その特性を重視して行動していることを表しています。各特性のスコアは下記の結果をご覧ください。

2.行動価値 12特性のスコアとチャート

自己認知力	スコア	自己安定力	スコア	対人認知力	スコア	対人影響力	スコア
自己感情モニタリング力	55.5	コントロール&アチーブメント力	43.2	対人共感力	26.6	リーダーシップ発揮力	69.6
客観的自己評価力	34.2	ビジョン創出力	80.0	状況察知力	30.7	アサーション発揮力	36.4
自己肯定力	79.7	ポジティブ思考力	43.7	ホスピタリティ発揮力	40.8	集団適応力	27.7



3.野崎 大輔さんの強み

重視している要素	重視している要素が発揮された場合の特徴
ビジョン創出力	あなたは、自分自身で定めた目標を達成することの大切さを知っています。あなたは目標を達成するためには、粘り強くがんばった結果として得られる達成感を知っており、熱意を持って仕事に取り組みます。日常生活において、目標達成に立ち足る障害やリスクにも尻込みせず、絶対達成しようという意欲と持ち前の行動力を活かして、物事に取り組むことができるでしょう。
自己肯定力	あなたは、自信を持って行動することの大切さを知っています。また、自分の能力や過去に経験してきたことなどに自信を持つことの大切さや、自分の可能性や将来的な成功を信じる大切さを知っています。決して、自信過剰になるということではなく、「自分ならきっとできる」と信じているのです。日常生活において、気落ちしたり、困難なことが起こったとしても、自分には乗り越えられるはずだと信じて、積極的に取り組むことができるでしょう。

企業名: グローイング

受検日:	2017/02/10	受検者ID:	mk1	氏名:	野崎 大輔(のざき だいすけ)	年齢:	40
------	------------	--------	-----	-----	-----------------	-----	----

1. 要注意や危険が3 つ以上ある場合は自身の言動をしっかり振り返りましょう

	1		2		3		4		項目別	総合(9.5/10)	
	20	30	40	50	60	70	80				
モニタリング領域	対人共感リスク	[Bar chart showing score 73.4]						73.4	危険	危険水域	
	状況察知リスク	[Bar chart showing score 69.3]						69.3	危険		
	業務分担リスク	[Bar chart showing score 34.2]						34.2	-		
セルフマネジメント領域	感情コントロールリスク	[Bar chart showing score 56.8]						56.8	要注意	要注意水域	
	ポジティブ思考リスク	[Bar chart showing score 43.7]						43.7	-		
	自己肯定リスク	[Bar chart showing score 79.7]						79.7	危険	注意水域	

2. パワハラリスクの全体傾向

ハラスメントを起こすリスクがあります。この水域にある人は仕事面で「気負いなく、自信を持って、状況に応じて柔軟に対処できる」力があり、周囲から頼りにされるケースも多いと思われます。但し、対人共感リスクのスコアが高く出ている場合は特に十分な注意が必要です。ともすれば仕事ができる分、配慮のない傲慢な言動や、無責任な仕事の無茶ぶりにより、部下を疲弊させてしまう可能性もあります。ハラスメントを起こす人は、自身がハラスメントを起こしていることに気づいていないケースがほとんどです。あなた自身の言動を十分に振り返り、相手の立場・視点に立った周囲への働きかけを心がけていきましょう。

3. 一番留意すべき項目の傾向

自己肯定リスクについて、ハラスメントを起こす方と同様の傾向が見受けられ、十分な注意が必要です。過去の成功体験や、できるという自信は仕事を進める上で重要な推進力になります。但し、自信過剰になると周囲に対する配慮や注意が散漫になり、失言や傲慢な言動をとってしまう可能性があります。

4. 一番、留意すべき項目についての道しるべ(助言)

自信過剰になってしまうと傲慢な態度に見えてしまったり、人が意見づらい状況を生み出してしまう可能性があります。そのような言動があなた自身にないか謙虚に振り返ってみましょう。この適性検査で客観的かつ冷静に自分を振り返る他、他者がどのように自分を見ているのか直接意見を聞いてみたり、アンケートをとったりするのも良いでしょう。

5. こんな言動に身に覚えがありませんか？

①自己肯定リスク
<ul style="list-style-type: none"> ■「なぜこんなことができないの？」と詰める。 ■「こんな簡単だろう？」と仕事を振る。 ■「こんなこと、私にいちいち言わせるな」と怒る。 ■「私は〇〇さんとは違うんだ」と誇る。 ■「言う通りにすればいい」と意見を受け付けない。

②対人共感リスク
<ul style="list-style-type: none"> ■「なぜできないのか分からない」と呆れ顔を見せる。 ■フォローするつもりはなく、「いいからやってみろ」と仕事を振る。 ■「なんでやらないの?」「なんで行動しないの?」と詰める。 ■部下の欠点を周囲によくしゃべる。 ■「相手や周囲のことを気にすると、きりが無い」と考える。

個人結果シート（自己理解版）

企業名：グローイング

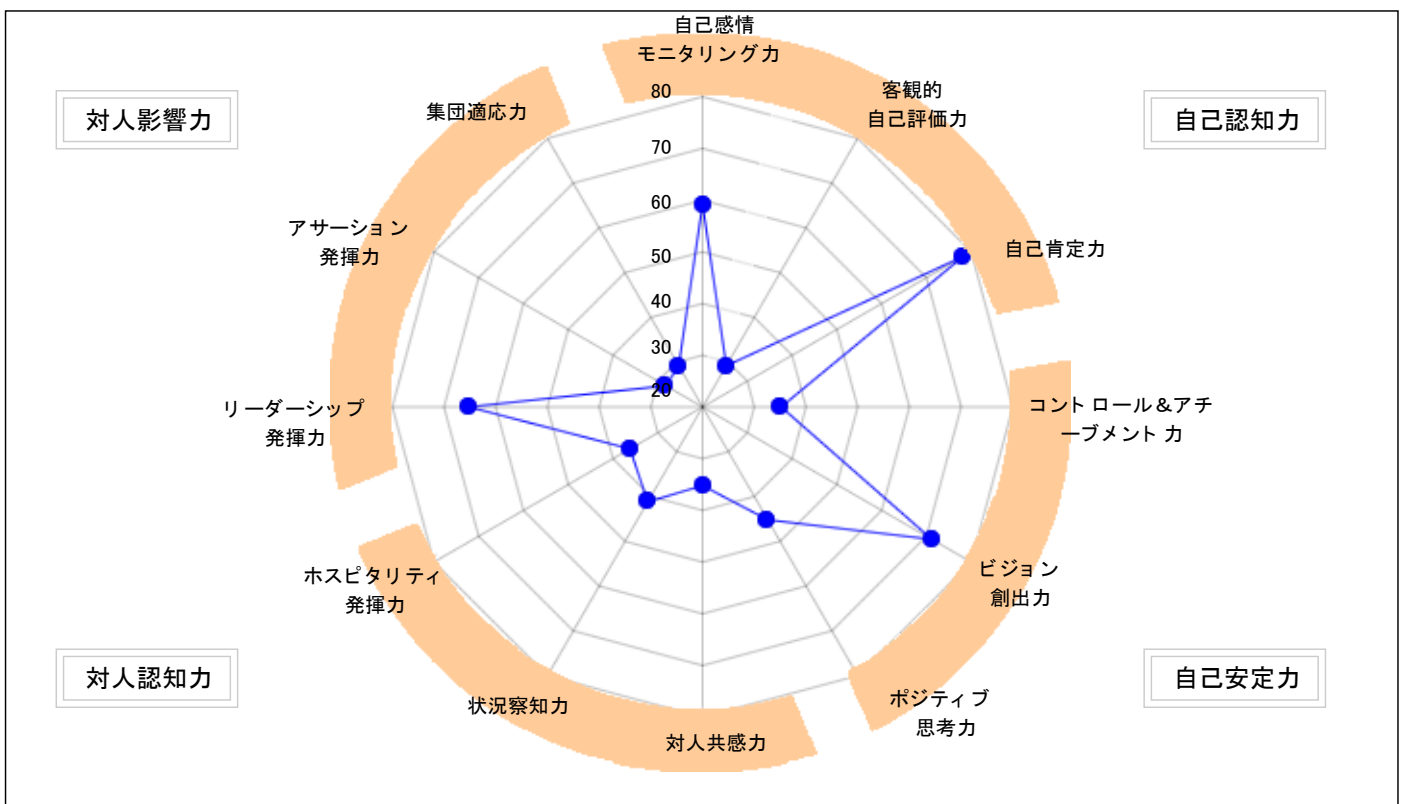
受検日:	2019/09/03	受検者ID:	4tc	氏名:	野崎 大輔(のざき だいすけ)	年齢:	42
------	------------	--------	-----	-----	-----------------	-----	----

1.行動価値検査で測定していること

行動価値検査は、日々行動する中で「あなたがどのような行動を重視しているのか」について測定しており、能力を測定する検査ではありません。この検査は12の特性から構成されており、12の特性は、「自己認知力：自己を適切に認識する力」「自己安定力：自分をコントロールする力」「対人認知力：他者の立場や感情を適切に認識する力」「対人影響力：他者を巻き込み、組織で目標を達成する力」の4つの領域に分かれています。12の特性はスコア（偏差値）で表わされています。スコアが高い場合には、日常の行動において、その特性を重視して行動していることを表しています。各特性のスコアは下記の結果をご覧ください。

2.行動価値 12特性のスコアとチャート

自己認知力	スコア	自己安定力	スコア	対人認知力	スコア	対人影響力	スコア
自己感情モニタリング力	60.7	コントロール&アチーブメント力	37.4	対人共感力	36.7	リーダーシップ発揮力	67.3
客観的自己評価力	31.3	ビジョン創出力	72.8	状況察知力	42.5	アサーション発揮力	30.4
自己肯定力	80.0	ポジティブ思考力	46.5	ホスピタリティ発揮力	38.0	集団適応力	30.6



3.野崎 大輔さんの強み

重視している要素	重視している要素が発揮された場合の特徴
自己肯定力	あなたは、自信を持って行動することの大切さを知っています。また、自分の能力や過去に経験してきたことなどに自信を持つことの大切さや、自分の可能性や将来的な成功を信じる大切さを知っています。決して、自信過剰になるということではなく、「自分ならきっとできる」と信じているのです。日常生活において、気落ちしたり、困難なことが起こったとしても、自分には乗り越えられるはずだと信じて、積極的に取り組むことができるでしょう。
ビジョン創出力	あなたは、自分自身で定めた目標を達成することの大切さを知っています。あなたは目標を達成するためには、粘り強くがんばった結果として得られる達成感を知っており、熱意を持って仕事に取り組めます。日常生活において、目標達成に立ち足らぬ障害やリスクにも尻込みせず、絶対達成しようという意欲と持ち前の行動力を活かして、物事に取り組むことができるでしょう。

企業名: グローイング

受検日:	2019/09/03	受検者ID:	4tc	氏名:	野崎 大輔(のざき だいすけ)	年齢:	42
------	------------	--------	-----	-----	-----------------	-----	----

1. 要注意や危険が3 つ以上ある場合は自身の言動をしっかりと振り返りましょう

	1		2		3		4		項目別	総合(7.5/10)	
	20	30	40	50	60	70	80				
モニタリング領域	対人共感リスク								63.3	危険	危険水域
	状況察知リスク								57.5	要注意	
	業務分担リスク								31.3	-	
セルフマネジメント領域	感情コントロールリスク								62.6	危険	要注意水域
	ポジティブ思考リスク								46.5	注意	
	自己肯定リスク								80	危険	注意水域

2. パワハラリスクの全体傾向

ハラスメントをつい起こしてしまう可能性に注意が必要です。特にスコアの高い項目についてはあなた自身の言動を振り返るようにしましょう。管理職としてストレスを受けやすい立場であると思われませんが、感情のままの言動や周囲への配慮のない振る舞いがあれば、ハラスメントと受け取られる可能性があります。ハラスメントを起こす人は、自身がハラスメントを起こしていることに気づいていないケースがほとんどです。相手の立場・視点に立った周囲への働きかけを心がけていきましょう。

3. 一番留意すべき項目の傾向

自己肯定リスクについて、ハラスメントを起こす方と同様の傾向が見受けられ、十分な注意が必要です。過去の成功体験や、できるという自信は仕事を進める上で重要な推進力になります。但し、自信過剰になると周囲に対する配慮や注意が散漫になり、失言や傲慢な言動をとってしまう可能性があります。

4. 一番、留意すべき項目についての道しるべ(助言)

自信過剰になってしまうと傲慢な態度に見えてしまったり、人が意見しづらい状況を生み出してしまう可能性があります。そのような言動があなた自身にないか謙虚に振り返ってみましょう。この適性検査で客観的かつ冷静に自分を振り返る他、他者がどのように自分を見ているのか直接意見を聞いてみたり、アンケートをとったりするのも良いでしょう。

5. こんな言動に身に覚えがありませんか?

①自己肯定リスク

- 「なぜこんなことができないの?」と詰める。
- 「こんな簡単だろう?」と仕事を振る。
- 「こんなこと、私にいちいち言わせるな」と怒る。
- 「私は〇〇さんとは違うんだ」と誇る。
- 「言う通りにすればいい」と意見を受け付けない。

②対人共感リスク

- 「なぜできないのか分からない」と呆れ顔を見せる。
- フォローするつもりはなく、「いいからやってみろ」と仕事を振る。
- 「なんでやらないの?」「なんで行動しないの?」と詰める。
- 部下の欠点を周囲によくしゃべる。
- 「相手や周囲のことを気にすると、きりが無い」と考える。